

データ集

I. ベビーシッター事業者データ(回答数:96 事業者)	33
1. ACSA 会員事業者の概要	33
2. ACSA 会員事業者の事業全体の概要	34
(1)事業所数と登録家庭訪問保育者数	
(2)保育関連事業以外の事業の実施の有無	
(3)ACSA 会員事業者の合計売上及び構成比(エリア別)	
3. 保育関連サービス売上高	36
(1)全国の保育関連サービス売上高階層別事業者数	
(2)総売上高に占める保育関連売上高の割合の階層別事業者数	
4. 家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス	37
(1)家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス売上高階層別事業者数	
(2)家庭訪問保育サービスと施設型保育サービスとの売上高比率	
5. 家庭訪問保育サービス	37
(1)売上高階層別事業者数	
(2)家庭訪問保育利用システム	
6. 施設型保育サービス	39
(1)施設型保育サービス全体	
(2)直営施設での施設型保育サービス	
(3)委託施設での施設型保育サービス	
II. ACSA 会員事業者アンケートデータ(回答数:31 事業者)	41
1. 家庭訪問保育の利用実態・供給体制について	41
(1)家庭訪問保育の利用実態	
(2)家庭訪問保育の供給体制	
2. 子ども・子育て支援新制度について	45
III. 子ども・子育て支援新制度における訪問型保育導入に関する調査 (地方自治体調査 回答数:97 自治体)	46
1. 地域型保育事業の導入について	46
2. 居宅訪問型保育事業について	46
3. 地域子ども・子育て支援事業について	47
4. 訪問型保育を導入する上での課題	47
IV. 家庭訪問保育者アンケートデータ(回答数:234 人)	48
1. 家庭訪問保育者の属性	48
(1)家庭訪問保育者経験年数	
(2)家庭訪問保育者の年齢	
(3)家庭訪問保育者の保有資格(複数回答)	
(4)育児経験の有無	
(5)従事したことがある保育形態	
2. 現在の勤務実態	49
(1)稼働可能頻度・時間帯	
(2)家庭訪問保育	
(3)保育ルームでの集団保育	
(4)その他の保育サービス	
(5)1か月の平均総勤務時間・総収入	
3. 家庭訪問保育という仕事について	52
4. 「子ども・子育て支援新制度」について	54

I. ベビーシッター事業者データ (回答数:96 事業者)

1. ACSA 会員事業者の概要

表 I-1-1 設立年と事業開始年
(単位:事業者)

年	会社設立	事業開始
'67年	1	0
'68年	0	0
'69年	0	0
'70年	0	0
'71年	0	0
'72年	1	0
'73年	0	0
'74年	1	0
'75年	0	0
'76年	0	0
'77年	0	0
'78年	0	0
'79年	0	0
'80年	0	0
'81年	2	1
'82年	2	1
'83年	0	0
'84年	1	1
'85年	0	2
'86年	3	1
'87年	4	2
'88年	4	6
'89年	9	8
'90年	9	7
'91年	7	6
'92年	2	2
'93年	6	6
'94年	5	8
'95年	6	5
'96年	3	7
'97年	4	2
'98年	0	4
'99年	4	3
'00年	5	2
'01年	2	1
'02年	0	2
'03年	0	0
'04年	1	2
'05年	1	1
'06年	4	5
'07年	2	1
'08年	0	0
'09年	1	1
'10年	1	1
'11年	2	2
'12年	3	2
'13年	0	2
無回答	0	2
計	96	96

表 I-1-2 都道府県ごとの事業者数・事業所数

		事業者(社)		事業所(箇所)	
		各都道府県	ブロック計	各都道府県	ブロック計
関東・東北・北海道	北海道	2	24	7	107
	青森県	0			
	岩手県	0			
	宮城県	1			
	秋田県	0			
	山形県	0			
	福島県	0			
	茨城県	0			
	栃木県	2			
	群馬県	2			
	埼玉県	3			
	千葉県	5			
	神奈川県	8			
	東京都	29		29	
中部近畿	新潟県	2	25	3	107
	富山県	0			
	石川県	2			
	福井県	0			
	山梨県	0			
	長野県	1			
	岐阜県	0			
	静岡県	2			
	愛知県	5			
	三重県	1			
	滋賀県	0			
	京都府	4			
	大阪府	4			
	兵庫県	4			
奈良県	0				
和歌山県	0				
中国・四国・九州	鳥取県	0	18	0	61
	島根県	0			
	岡山県	4			
	広島県	2			
	山口県	1			
	徳島県	1			
	香川県	0			
	愛媛県	1			
	高知県	1			
	福岡県	5			
	佐賀県	0			
	長崎県	0			
	熊本県	3			
	大分県	0			
宮崎県	0				
鹿児島県	0				
沖縄県	0				
計		96		445	

表 I-1-3 事業歴(単位:事業者)

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	無回答	総数
H26	6 6.3%	8 8.3%	8 8.3%	17 17.7%	57 59.4%	0 0.0%	96 100%
H25	7 7.1%	7 7.1%	13 13.1%	19 19.2%	53 53.5%	0 0.0%	99 100%
H24	3 3.1%	9 9.4%	15 15.6%	27 28.1%	40 41.7%	2 2.1%	96 100%

2. ACSA会員事業者の事業全体の概要

(1)事業所数と登録家庭訪問保育者数

表 I-2-1 H26 年度の地域別の事業者数・事業所数・登録家庭訪問保育者の合計

H26	事業者数 (社)		事業所数(箇所)		登録家庭訪問保育者数(人)		登録家庭訪問保育者数増減(人)
	数	割合	数	割合	数	割合	
東京除く関東・東北・北海道	24	25.0%	107	24.0%	3,918	16.1%	+885
東京	29	30.2%	170	38.2%	9,994	40.9%	-655
中部・近畿	25	26.0%	107	24.0%	5,106	20.9%	+231
中国・四国・九州	18	18.8%	61	13.8%	5,391	22.1%	+483
全国計	96	100%	445	100%	24,409	100%	+944

表 I-2-2 H25 年度の地域別の事業者数・事業所数・登録家庭訪問保育者の合計

H25	事業者数 (社)		事業所数(箇所)		登録家庭訪問保育者数(人)	
	数	割合	数	割合	数	割合
東京除く関東・東北・北海道	23	23.2%	104	23.7%	3,033	12.9%
東京	31	31.3%	162	37.0%	10,649	45.4%
中部・近畿	27	27.3%	111	25.3%	4,875	20.8%
中国・四国・九州	18	18.2%	61	13.9%	4,908	20.9%
全国計	99	100%	438	100%	23,465	100%

(2)保育関連事業以外の事業の実施の有無

表 I-2-3 保育関連事業以外の事業の実施状況 (単位:事業者)

	保育関連のみ実施	保育関連以外も実施	無回答	総数
	H26	44 45.8%	50 52.1%	2 2.1%
H25	47 47.5%	50 50.5%	2 2.0%	99 100%
H24	48 50.0%	46 47.9%	2 2.1%	96 100%

表 I-2-4 地域別保育関連事業以外の事業の実施状況 (単位:事業者)

	保育関連のみ実施	保育関連以外も実施	無回答	総数
東京都	10	19	0	29
	34.5%	65.5%	0.0%	100%
東京を除く関東・東北・北海道	13	10	1	24
	54.2%	41.7%	4.1%	100%
中部・近畿	15	9	1	25
	60.0%	36.0%	4.0%	100%
中国・四国・九州	6	12	0	18
	33.3%	66.7%	0.0%	100%

(3)ACSA 会員事業者の合計売上及び構成比(エリア別)

表 I-2-5 全国及びエリア別の合計売上及び構成比 (単位:万円)

	保育関連事業						保育 関連 事業 小計	その他 保育 以外	エリア 合計
	家庭訪問保育		施設型保育事業		保育所 養成 研修	その他 保育 関連			
	在宅 保育	在宅外 保育	直営 施設	委託 施設					
東京を除く 関東・東北 ・北海道	47,419 12.3%	8,610 2.2%	49,374 12.8%	149,192 38.8%	0 0.0%	59,924 15.6%	314,519 81.7%	70,406 18.3%	384,925 100%
東京都	230,546 7.4%	51,544 1.6%	966,481 31.0%	1,070,934 34.3%	86 0.0%	265,222 8.5%	2,584,813 82.8%	535,403 17.2%	3,120,216 100%
中部・近畿	71,808 8.7%	27,443 3.3%	251,198 30.4%	267,021 32.3%	0 0.0%	21,980 2.6%	639,450 77.3%	187,751 22.7%	827,201 100%
中国・四国・九州	26,935 3.3%	10,703 1.3%	154,212 19.2%	322,966 40.1%	1,263 0.2%	40,899 5.1%	556,978 69.2%	248,046 30.8%	805,024 100%
全国計	376,708 7.3%	98,300 1.9%	1,421,265 27.7%	1,810,113 35.2%	1,349 0.0%	388,025 7.6%	4,095,760 79.7%	1,041,606 20.3%	5,137,366 100%
	475,008 9.2%		3,231,378 62.9%		389,374 7.6%				

●1事業者あたりの売上構成

表 I-2-6 全国及びエリア別の1事業者あたりに換算した売上構成比 (単位:万円)

	保育関連事業						保育 関連 事業 小計	その他 保育 以外	総合計
	家庭訪問保育		施設型保育事業		保育所 養成 研修	その他 保育 関連			
	在宅 保育	在宅外 保育	直営 施設	委託 施設					
東京を除く関東 ・東北・北海道 ※1	2,062	374	2,147	6,487	0	2,605	13,675	3,061	16,736
東京都	7,950	1,777	33,327	36,929	3	9,145	89,131	18,462	107,593
中部・近畿 ※2	2,992	1,144	10,466	11,126	0	916	26,644	7,823	34,467
中国・四国・九州	1,496	595	8,567	17,943	70	2,272	30,943	13,780	44,723
全国平均 ※3	4,008	1,045	15,120	19,257	14	4,128	43,572	11,081	54,653

※1・・・無回答 1 事業者を除く 23 事業者の平均

※2・・・無回答 1 事業者を除く 24 事業者の平均

※3・・・無回答 2 事業者を除く 94 事業者の平均

3. 保育関連サービス売上高(家庭訪問保育サービス+施設型保育サービス+その他の保育サービス)

(1) 全国の保育関連サービス売上高階層別事業者数

表 I-3-1 保育関連サービス売上高の階層別事業者数 (単位:事業者)

	2,500万円未満	2,500万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～3億円未満	3億円～5億円未満	5億円～10億円未満	10億円以上	無回答	総数
H26	25	21	11	16	6	3	12	2	96
	26.0%	21.9%	11.4%	16.7%	6.3%	3.1%	12.5%	2.1%	100%
H25	24	24	13	15	6	2	13	2	99
	24.2%	24.2%	13.1%	15.2%	6.1%	2.0%	13.1%	2.0%	100%
H24	22	25	13	18	1	3	12	2	96
	22.9%	26.0%	13.5%	18.8%	1.0%	3.1%	12.5%	2.1%	100%
H26 東京	6	3	4	5	2	1	8	0	29
	20.7%	10.4%	13.8%	17.2%	6.9%	3.4%	27.6%	0.0%	100%
H25 東京	9	2	4	5	2	0	9	0	31
	29.0%	6.5%	12.9%	16.1%	6.5%	0.0%	29.0%	0.0%	100%
H26 その他	19	18	7	11	4	2	4	2	67
	28.3%	26.9%	10.4%	16.4%	6.0%	3.0%	6.0%	3.0%	100%
H25 その他	17	20	9	10	4	2	4	2	68
	25.0%	29.4%	13.2%	14.7%	5.9%	2.9%	5.9%	2.9%	100%

●保育関連市場占有状況

表 I-3-2 保育関連サービス市場の占有状況 (単位:万円)

		1～10位	11～20位	21～30位	31～40位	41～50位	51～60位	61～最下位
H26	売上高	2,886,135	743,251	200,528	106,898	58,967	39,669	60,312
	占有率	70.5%	18.1%	4.9%	2.6%	1.4%	1.0%	1.5%
H25	売上高	2,801,412	770,842	214,851	103,593	65,707	41,995	68,818
	占有率	68.9%	19.0%	5.3%	2.5%	1.6%	1.0%	1.7%
H24	売上高	2,434,869	678,491	176,212	95,131	55,376	38,790	60,472
	占有率	68.8%	19.2%	5.0%	2.7%	1.6%	1.1%	1.7%

(2) 総売上高に占める保育関連売上高の割合の階層別事業者数

表 I-3-3 総売上高に占める保育関連売上高の割合の階層別事業者数 (単位:事業者)

	100%	～100%未満	～80%	～50%	無回答	総数
H26	44	22	11	17	2	96
	45.8%	22.9%	11.5%	17.7%	2.1%	100%
H25	48	18	12	19	2	99
	48.5%	18.2%	12.1%	19.2%	2.0%	100%
H24	48	16	13	17	2	96
	50.0%	16.7%	13.5%	17.7%	2.1%	100%
H26 東京	12	8	3	6	0	29
	41.4%	27.6%	10.3%	20.7%	0.0%	100%
H26 その他	34	12	8	11	2	67
	50.7%	17.9%	12.0%	16.4%	3.0%	100%

4. 家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス

(1)家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス売上高階層別事業者数

表 I-4-1 家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス売上高の階層別事業者数（単位：事業者）

	2,500万未満	2,500万～5,000万円未満	5,000万～1億未満	1億～3億円未満	3億～5億円未満	5億～10億円未満	10億以上	無回答	総数
H26	28	20	14	15	3	4	10	2	96
	29.2%	20.8%	14.6%	15.6%	3.1%	4.2%	10.4%	2.1%	100%
H25	27	23	14	17	1	4	11	2	99
	27.3%	23.2%	14.1%	17.2%	1.0%	4.0%	11.1%	2.0%	100%
H24	26	23	14	16	1	3	11	2	96
	27.1%	24.0%	14.6%	16.7%	1.0%	3.1%	11.5%	2.1%	100%

(2)家庭訪問保育サービスと施設型保育サービスとの売上高比率

表 I-4-2 家庭訪問保育サービスと施設型保育サービスとの売上高比率の階層別事業者数(単位：事業者)

	100%	80%以上100%未満	50%以上80%未満	20%以上50%未満	20%未満	無回答	総数
H26	30	25	16	12	11	2	96
	31.3%	26.0%	16.7%	12.5%	11.4%	2.1%	100%
H25	22	10	15	16	34	2	99
	22.2%	10.1%	15.2%	16.2%	34.3%	2.0%	100%
H24	22	14	13	13	32	2	96
	22.9%	14.6%	13.5%	13.5%	33.3%	2.1%	100%

5. 家庭訪問保育サービス

(1)売上高階層別事業者数

表 I-5-1 家庭訪問保育サービス売上高の階層別事業者数(単位：事業者)

	1,000万円未満	1,000万～5,000万円未満	5,000万～1億円未満	1億～2億円未満	2億円以上	無回答	総数
H26	30	41	12	9	2	2	96
	31.2%	42.7%	12.5%	9.4%	2.1%	2.1%	100%
H25	32	41	14	8	2	2	99
	32.3%	41.4%	14.1%	8.1%	2.0%	2.0%	100%
H24	29	40	15	8	2	2	96
	30.2%	41.7%	15.6%	8.3%	2.1%	2.1%	100%
H26 東京	6	9	6	7	1	0	29
	20.7%	31.0%	20.7%	24.1%	3.5%	0.0%	100%
H25 東京	6	11	7	6	1	0	31
	19.4%	35.5%	22.6%	19.4%	3.2%	0.0%	100%
H26 その他	24	32	6	2	1	2	67
	35.8%	47.8%	8.9%	3.0%	1.5%	3.0%	100%
H25 その他	26	30	7	2	1	2	68
	38.2%	44.1%	10.3%	2.9%	1.5%	2.9%	100%

(2)家庭訪問保育 利用システム

① 表 I-5-2 会員制の有無

あり	なし	総数
89	7	96
92.7%	7.3%	100%

② 表 I-5-3 会員制の場合の入会金、年会費、ビジター制の有無

入会金		年会費		ビジター制		総数
あり	なし	あり	なし	あり	なし	
70	19	73	16	72	17	89
78.7%	21.3%	82.0%	18.0%	80.9%	19.1%	100%

③ 対象とする子どもの年齢

表 I-5-4 子どもの受け入れ開始年齢

0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	2歳	総数
71	12	8	3	1	1	96
74.0%	12.5%	8.3%	3.1%	1.0%	1.0%	100%

表 I-5-5 子どもの受け入れ終了年齢

設定なし	8歳0ヶ月	9歳0ヶ月	10歳0ヶ月	12歳0ヶ月	12歳11ヶ月	12歳12ヶ月	15歳0ヶ月	18歳0ヶ月	無回答	総数
4	2	6	11	57	5	2	4	1	4	96
4.2%	2.0%	6.3%	11.4%	59.4%	5.2%	2.1%	4.2%	1.0%	4.2%	100%

④ 表 I-5-6 最低引き受け時間

設定なし	1時間	1.5時間	2時間	2.5時間	3時間	4時間	総数
1	12	1	60	2	19	1	96
1.0%	12.5%	1.0%	62.5%	2.1%	19.8%	1.0%	100%

⑤ 表 I-5-7 特別な保育ニーズへの対応

障害児保育		病後児保育		産褥期ケア		総数
あり	なし	あり	なし	あり	なし	
63	33	80	16	83	13	96
65.6%	34.4%	83.3%	16.7%	86.5%	13.5%	100%

⑥ 表 I-5-8 利用時間帯別 1時間あたりの平均利用料金

		基本時間	早朝	夜間	深夜
会員料金	平均料金	1,594円	1,791円	1,915円	1,910円
	事業者数	72社	70社	42社	27社
ビジター料金	平均料金	2,111円	2,522円	2,494円	2,787円
	事業者数	62社	29社	42社	39社

		基本時間	早朝	夜間	深夜
会員料金	東京	1963円(27社)	2305円(11社)	2351円(19社)	2699円(17社)
	東京以外	1583円(67社)	1881円(31社)	1926円(43社)	2214円(41社)
ビジター料金	東京	2594円(17社)	3144円(7社)	2924円(13社)	3272円(11社)
	東京以外	1928円(45社)	2324円(23社)	2301円(29社)	2596円(29社)

6. 施設型保育サービス

(1)施設型保育サービス全体

表 I-6-1 施設型保育サービスの実施の有無(単位:事業者)

	実施している	実施していない	無回答	総数
H26	74	21	1	96
	77.1%	21.9%	1.0%	100%
H25	76	22	1	99
	76.8%	22.2%	1.0%	100%
H24	73	22	1	96
	76.0%	22.9%	1.0%	100%

表 I-6-2 地域別の直営施設、委託施設の数および売上

	施設数(箇所)		事業者当り施設数(箇所)		施設当たり売上(万円)	
	直営	委託	直営	委託	直営	委託
東京除く関東 ・東北・北海道	16	48	1.8	4.4	3,085	1,222
東京都	124	308	8.9	25.7	7,794	3,477
中部・近畿	97	169	5.4	9.9	2,590	1,589
中国・四国・九州	54	178	3.6	13.7	2,653	2,856
全国計	291	703	5.2	13.3	4,884	2,575

表 I-6-3 施設型保育サービス売上高の階層別事業者数(単位:事業者)

	~1,000万円 未満	1,000万 ~5,000万円 未満	5,000万 ~1億円 未満	1億 ~2億円 未満	2億 ~5億円 未満	5億円 以上	総数
H26	21	22	6	3	7	14	73
	28.8%	30.1%	8.2%	4.1%	9.6%	19.2%	100%
H25	21	22	6	5	6	15	75
	28.0%	29.3%	8.0%	6.7%	8.0%	20.0%	100%
H24	20	25	4	4	5	14	72
	27.8%	34.7%	5.6%	5.6%	6.9%	19.4%	100%
H26 東京	2	4	2	1	1	8	18
	11.1%	22.2%	11.1%	5.6%	5.6%	44.4%	100%
H26 その他	19	18	4	2	6	6	55
	34.5%	32.7%	7.3%	3.6%	10.9%	10.9%	100%

(2)直営施設での施設型保育サービス

表 I-6-4 直営施設での施設型保育サービス実施の有無(単位:事業者)

	実施している	実施していない	無回答	総数
H26	56	38	2	96
	58.3%	39.6%	2.1%	100%
H25	61	37	1	99
	61.6%	37.4%	1.0%	100%
H24	60	35	1	96
	62.5%	36.5%	1.0%	100%

表 I -6-5 直営施設での施設型保育サービス売上高の階層別事業者数(単位:事業者)

	～1,000万円未満	～5,000万円未満	～1億円未満	～3億円未満	3億円以上～	総数
H26	18	18	2	7	11	56
	32.1%	32.1%	3.6%	12.5%	19.7%	100%
H25	19	19	4	8	10	60
	31.7%	31.7%	6.7%	13.3%	16.7%	100%
H24	19	21	5	6	8	59
	32.2%	35.6%	8.5%	10.2%	13.6%	100%
H26 東京	0	4	1	2	7	14
	0.0%	28.6%	7.1%	14.3%	50.0%	100%
H26 その他	18	14	1	5	4	42
	42.9%	33.3%	2.4%	11.9%	9.5%	100%

(3)委託施設での施設型保育サービス

表 I -6-6 委託施設での施設型保育サービス実施の有無(単位:事業者)

	実施している	実施していない	無回答	総数
H26	52	42	2	96
	54.2%	43.7%	2.1%	100%
H25	52	46	1	99
	52.5%	46.5%	1.0%	100%
H24	52	43	1	96
	54.2%	44.8%	1.0%	100%

表 I -6-7 委託施設での施設型保育サービス売上高の階層別事業者数(単位:事業者)

	～1,000万円未満	～5,000万円未満	～1億円未満	～3億円未満	3億円以上～	総数
H26	16	12	5	6	13	52
	30.8%	23.1%	9.6%	11.5%	25.0%	100%
H25	16	13	1	8	13	51
	31.4%	25.5%	2.0%	15.7%	25.5%	100%
H24	17	11	5	6	12	51
	33.3%	21.6%	9.8%	11.8%	23.5%	100%
H26 東京	3	0	2	0	8	13
	23.1%	0.0%	15.4%	0.0%	61.5%	100%
H26 その他	13	12	3	6	5	39
	33.3%	30.8%	7.7%	15.4%	12.8%	100%

Ⅱ. ACSA 会員事業者アンケートデータ (回答数:31 事業者)

上段 件数(単位:事業者) 下段(一部右段) 割合

1. 家庭訪問保育の利用実態・供給体制について

(1)家庭訪問保育の利用実態

表Ⅱ-1-1 家庭訪問保育の利用状況(複数回答)

保育形態	利用が多い	利用がある	利用が あまりない	無回答	総数	最近利用が増えている 保育形態
①早朝保育(9時前)	4 12.9%	17 54.8%	9 29.0%	1 3.2%	31 100%	3 9.7%
②夜間保育(17時以降)	17 54.8%	11 35.5%	2 6.5%	1 3.2%	31 100%	7 22.6%
③深夜保育(22時以降)	1 3.2%	20 64.5%	9 29.0%	1 3.2%	31 100%	2 6.5%
④宿泊を伴う保育	1 3.2%	5 16.1%	24 77.4%	1 3.2%	31 100%	0 0.0%
⑤日中(9時～17時)の定期的保育	11 35.5%	14 45.2%	5 16.1%	1 3.2%	31 100%	1 3.2%
⑥送迎を伴う定期的な保育	17 54.8%	11 35.5%	2 6.5%	1 3.2%	31 100%	8 25.8%
⑦休日保育	4 12.9%	21 67.7%	5 16.1%	1 3.2%	31 100%	1 3.2%
⑧一時保育	9 29.0%	15 48.4%	6 19.4%	1 3.2%	31 100%	0 0.0%
⑨病児・病後児保育	8 25.8%	14 45.2%	8 25.8%	1 3.2%	31 100%	2 6.5%
⑩産前産後ケア	10 32.3%	15 48.4%	5 16.1%	1 3.2%	31 100%	6 19.4%
⑪障害児保育	2 6.5%	11 35.5%	16 51.6%	2 6.5%	31 100%	1 3.2%
⑫学童保育	6 19.4%	16 51.6%	7 22.6%	2 6.5%	31 100%	3 9.7%

表Ⅱ-1-2 利用者の利用の仕方(複数回答)

1. ベビーシッター育児支援券を利用する方	28	90.3%
2. 勤務する会社の福利厚生を使って利用する方	27	87.1%
3. すべて自費で利用する方	29	93.5%
4. 地方自治体の事業として利用する方	12	38.7%
5. その他	4	12.9%
総数	31	100%

表Ⅱ-1-3 全体の利用量に対する割合

	平均	最小値	最大値	中央値
1. ベビーシッター育児支援券を利用する方	2.5割	0割	6.5割	2割
2. 勤務する会社の福利厚生を使って利用する方	1.7割	0割	4割	1.5割
3. すべて自費で利用する方	5.1割	1割	10割	5割
4. 地方自治体の事業として利用する方	0.4割	0割	4割	0割
5. その他	0.3割	0割	3割	0割

表Ⅱ-1-4 公的な事業の一環として取り入れられている家庭訪問保育

ある	産前産後支援(上の子どもの保育を含む)	15	48.4%
	病児病後児保育	8	25.8%
	一時保育	4	12.9%
	障害児保育	1	3.2%
	養育支援家庭訪問保育	6	19.4%
	ひとり親家庭支援	8	25.8%
	その他	5	16.1%
ない	14	45.2%	
無回答	1	3.2%	
総数		31	100%

(2)家庭訪問保育の供給体制

表Ⅱ-1-5 家庭訪問保育の雇用形態について

	いる				いない	無回答	総数
	全体	専任	兼務	無回答			
正社員	9 29.0%	4 12.9%	4 12.9%	1 3.2%	12 38.7%	10 32.3%	31 100%
パートタイマー	20 64.5%	12 38.7%	11 35.5%	3 9.7%	4 12.9%	7 22.6%	31 100%
契約社員	3 9.7%	0 0.0%	2 6.5%	1 3.2%	13 41.9%	15 48.4%	31 100%
登録社員	12 38.7%	5 16.1%	3 9.7%	4 12.9%	9 29.0%	10 32.3%	31 100%
業務委託	3 9.7%	2 6.5%	1 3.2%	0 0.0%	12 38.7%	16 51.6%	31 100%
その他	2 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.5%	5 16.1%	24 77.4%	31 100%

*パートタイマーは複数回答

表Ⅱ-1-6 家庭訪問保育者の総数に占める割合

	平均	最小値	最大値	中央値
正社員	1.6%	0.0%	10.0%	0.0%
パートタイマー	47.3%	0.0%	100.0%	10.0%
契約社員	1.2%	0.0%	20.0%	0.0%
登録社員	38.3%	0.0%	100%	0.0%
業務委託	7.6%	0.0%	100%	0.0%
その他	4%	0.0%	100%	0.0%

表Ⅱ-1-7 家庭訪問保育の依頼に対して保育者は十分に確保できているか(複数回答)

1. 全体的に充足している	3	9.7%
2. 時間帯により、足りないところがある	28	90.3%
3. ある程度の経験者が足りないところがある	8	25.8%
4. 資格取得者が足りない	16	51.6%
5. その他	1	3.2%
総数	31	100%

表Ⅱ-1-8 不足する時間帯(複数回答)

早朝	夕方	夜間	無回答	総数
16	17	17	0	28
57.1%	60.7%	60.7%	0.0%	100%

表Ⅱ-1-9 不足する資格取得者(複数回答)

保育士	認定ベビー シッター	その他	無回答	総数
14	5	1	2	16
87.5%	31.3%	6.3%	12.5%	100%

表Ⅱ-1-10 家庭訪問保育者としての勤務継続率

1. 全体として長く継続する人が多い	14	45.2%
2. 長く継続する人とすぐに辞める人がいる	16	51.6%
3. 短期間で辞める人が多い	0	0.0%
4. その他	0	0.0%
無回答	1	3.2%
総数	31	100%

表Ⅱ-1-11 家庭訪問保育者として採用する際、特に重視する点(複数回答)

1. 保育に携わった経験がある	25	80.6%
2. 保育士等の資格を持っている	16	51.6%
3. 子育ての経験がある	24	77.4%
4. 身だしなみや礼儀作法が身についている	27	87.1%
5. 身元確認が取れている	25	80.6%
6. 勤務条件(稼働できる時間帯等)があう	27	87.1%
7. その他	3	9.7%
総数	31	100%

表Ⅱ-1-12 コーディネータの配置

1. いる	27	87.1%
2. いないが、代表者がその役割を担っている	4	12.9%
3. いない	0	0.0%
総数	31	100%

表Ⅱ-1-13 コーディネータの人数

1名	2名	3名	4名	5名	6名	10名以上	20名以上	総数
5	8	3	3	4	1	2	1	27
18.5%	29.6%	11.1%	11.1%	14.8%	3.7%	7.4%	3.7%	100%

表Ⅱ-1-14 コーディネータが担う役割(複数回答)

1. 利用者のニーズを把握する	29	93.5%
2. 利用者の話をよく聞く	28	90.3%
3. 利用者の依頼内容にあった家庭訪問保育者を調整する	30	96.8%
4. 利用者に安心感を与える	28	90.3%
5. 利用者の苦情や要望を受け付ける	28	90.3%
6. 提供する保育の品質管理をする	24	77.4%
7. 家庭訪問保育者の報告を受ける	27	87.1%
8. 家庭訪問保育者の相談にのる	23	74.2%
9. 家庭訪問保育者に助言・指導する	24	77.4%
10. その他	4	12.9%
総数	31	100%

家庭訪問保育の利用実態・供給体制についての自由意見

- 人材の価値は数値化しづらい。そのために質の向上にはとても差が出てくる。そしてそれまでの生き様や考え方が、昔よりも多様であり、会社の子育て支援の考え方を教育していく事にとっても力を使う。応募されても、訪問保育には行きたくないリスクを負いたくないスタッフも多い。
- 個人シッティングの場合、綿密な聞き取り調査後、できうる限り利用者のご要望にそったシッティングスタッフの手配をさせていただいております。
どうしてもすぐ登録して利用したいという利用者には少しお時間をいただく形になってしまい申し訳なく思っていますが、信頼関係の構築に近道はないと思っておりますので、安全に安心してご利用いただく為にも、一つ一つ確認するお時間をいただいております。その為、なかなか利用者数が伸びない現実となっております。
- 産前産後サポートサービス(家事を含む)を希望するお客様が増えているが、家事を得意とするスタッフが不足している。シッターが家事も行うという事業は不可欠であると感じるが養成がむずかしい。
- <ベビーシッター> 子育て経験を活かすことができ、かつ社会的に意義のある仕事であることが、まだまだ認知されていない。→更にベビーシッター会社に登録することのメリットも認知が不十分である。プライドが高められるとともに、やりがいを持って一つの職業として認められるような、社会の情報発信が必須。
<コーディネータ> そもそもベビーシッター同様、この職業への認知度が低すぎる。
<その他> ネガティブな事件や、利用するためのハードルばかりがクローズアップされている。まずは世の中へベビーシッターが様々な場面で気軽に利用できるもの、または利用しても良いものをつきつかりとした情報を発信すべき。更には公的助成の不足を解消すべき。
- ベビーシッター事業者の場合、採用の際の面接を重視し、採用時のみでなく、継続的なフォローアップ研修等を行うことで常に資質の向上を会社として取り組んでいる。
コーディネータは、窓口、マッチング、顧客とシッターの声をきく、シッターの教育、評価など多くの役割をもっている。
- 利用者とはベビーシッターとの間にコーディネータが介在し調整役を務めることにより、両者に対して提供できる価値やメリットは大きいと考えている。
マッチングサイトとは違い、法人によるスケールメリットを生かした研修を実施することで質の保障と保険の充実が図られる。
- 責任の重さが大きく異なる。事業者も仕事を担う保育者も共に命の重さを優先とし、安全な環境の中でお子さんを預かる体制が整っている。まずは万が一の保険対応の加入。これは基本と考える。保育を依頼する保護者も実態のない不明なサイトを決して選択することのないよう望む。人材の確保については、協会の研修修了後、各法人の案内を(名簿一覧)渡すなどの情報提供(これからシッター会社に登録希望者)をして欲しい。
- ご要望はたくさんあるのですが、シッター不足で手配をお断りするケースが出ています。
- 責任の問題、マッチングサイトもファミリーサポートも個人責任となることが多く(実際にファミリーサポートは国が支援しているわりに、裁判になっている)
コーディネータは、各個人の目的を確認調整をします。聞き取り方、話し方、聞き方により、人は様々な取り方をする事を知った上で、要望に応えるべく努力をすること、うそはつかないこと、的確な人材を調整し、又個人個人の性格の違いも考え、教育や養成をすることが大切です。人材確保は難しいですが、資格があるからといってできるとは限りません。コーディネータの役目はすごく大きいと思います。
- 在宅保育を利用される方がほとんどいらっしゃいません。割引券が利用できる方のみでの利用です。不定期な業務の為、人材確保が難しい為、新しい人材は増員していません。固定のベテランスタッフが月に一度ミーティングの際、テーマを決めて話しあっています。コーディネータの役割(ミーティングの際の進行等、議事録も作成している)は以前事件があったので、綿密に面談(保護者の方)・書類の記入をしています。

表Ⅱ-1-15 家庭訪問保育の現状の課題(複数回答)

1. 利用者「訪問型保育」のメリットが伝わりにくい	5	16.1%
2. 「訪問型保育」を利用しやすい仕組みが整っていない	8	25.8%
3. 利用料金への国・自治体などの支援が少ない	23	74.2%
4. 時間に偏りがありシフトが組みにくい	12	38.7%
5. 急な依頼への対応やキャンセルがある	20	64.5%
6. 人材が不足している	24	77.4%
7. 家庭訪問保育者の能力や質の向上を図る機会がとりにくい	11	35.5%
8. 利用が安定しにくい	16	51.6%
9. 対応が難しい依頼者(親)からの要望への対応やコミュニケーションがとりにくい	4	12.9%
10. その他	1	3.2%
11. 課題はほとんどない	0	0.0%
総数	31	100%

2. 子ども・子育て支援新制度について

表Ⅱ-2-1 事業者・利用者向け説明会への参加

参加した	これから参加する予定	実施されていない	よくわからない	無回答	総数
16	9	4	1	1	31
51.6%	29.0%	12.9%	3.2%	3.2%	100%

表Ⅱ-2-2 「居宅訪問型保育」の創設について(複数回答)

創設される	創設されない	決まっていない	知らない	総数
8	3	15	8	31
25.8%	9.7%	48.4%	25.8%	100%

表Ⅱ-2-3 居宅訪問型保育事業の認可事業者としての申請

申請する予定である	検討はする	申請しない	よくわからない	総数
16	11	3	1	31
51.6%	35.5%	9.7%	3.2%	100%

表Ⅱ-2-4 一時預かり事業の創設について(複数回答)

創設される	創設されない	決まっていない	知らない	無回答	総数
5	0	16	9	2	31
16.1%	0.0%	51.6%	29.0%	6.5%	100%

表Ⅱ-2-5 家庭訪問保育者の研修受講(居宅訪問型保育、地域子ども・子育て支援事業等)について(複数回答)

1. 会社として積極的に受講させたい	15	48.4%
2. 受講してほしいが、保育者の側に時間的な制約がある	16	51.6%
3. 受講してほしいが、その間業務に就けないことが会社にも本人にも負担になる	16	51.6%
4. 現状の保育ができればよいので、特に研修を受講させる意向はない	2	6.5%
5. その他	2	6.5%
総数	31	100%

子ども・子育て支援新制度や「居宅訪問型保育」についての自由意見

○「居宅訪問型保育」は施設を必要とせず、0～2才の子どもたちには、大変安心かつ手厚い保育ではあるが、その要件には、大変大きな壁がある。とくに障害児、疾病児には、養護士のような力が求められて行く。かなりのスキルを必要とされるため、求められる保育者を排出するの本当に大変である。その反面、保育所の拡充により、家になかなか帰れない子が増える。自宅でゆっくり過ごす事での心の安定や安心感に寄与してきたベビーシッターの役割は、どうなっていくのだろうか。働く親たちへの本当の支援とは何か…アンテナをしっかりと立てながら事業を行っていきたい。

☆一部の利用者にターゲットを定めた事業であり、社会に大きな影響を与える改革的な案でないことが残念。
☆自治体がいずれの形であれ、ベビーシッターの事業を開始することへは大変消極的である。もっと協会や各事業者がこのサービスの柔軟性と必要性を語るべき。

☆事業者の認可化や研修制度が非常に現実の運用や時代と逆行したルールとなっている。協会に登録している事業者が自動的に認可されるような風通しの良い制度をなぜ導入できないのか疑問。

○各市区町村の「居宅型保育事業」の公募がある場合、協会を通じて情報が会員事業者に迅速に伝わることを希望しています。

・今までの自治体受託事業は、交通費を含まないものが多く、採算的に厳しかった。居宅訪問型保育を行う事業者が安定的な経営ができるような制度を希望しています。

○居宅訪問型保育は、広域レベルでサービスを提供するので、区市町村単位ではなく、都道府県単位が望ましい。

○消費税増税が先送りされたので、財源と予算について明確な説明が今の時点で行政から無い。来年4月より小規模託児に移行予定なので、困っている。

- 当社では認可保育園を開設すべく、自治体をまわっておりまして。小規模保育 C 型につき、複数の自治体が「C 型で開設しても自治体の研修が間に合わないので、全員保育士を配置すべし」といわれました。市区町村でなく、都道府県単位で研修しないと、せっかくの新制度も実効性に乏しくなると考えます。
- Q14 に義務づけられている内容については、厳しい状況にある。子育て経験豊富なシッターでも新任研修終了後、業務に従事してなかなか現任の研修を受講できないでいる者も多くいる。今後は受講しやすいように、夜間研修を増やす、開催回数を増やすなどして受講チャンスを多く設定してほしい。それに実務経験豊富なシッターについては、保育所での実習免除等考慮があると良い。
- 多くの国民は「居宅訪問型保育」＝「家庭訪問保育」は同じと考えます。
新制度は、国が決めた施策で、世の中の流れの中で本当に子育ての事を理解した方々が作られたのか分かりません。「居宅訪問型保育」については、全国保育サービス協会の方達の意見は、何も入ってないですね。認定証を持ったベビーシッターはこれからは、無意味となることとなります。何の為の研修だったのか、昔ベビーシッター協会が発足した時の目標から、かけ離れてしまい、園中心の内容に替り、時々ベビーシッターの事が話合われる程度になり、国への発言力もなくなり、私たち皆が危惧した通りになりました。残念です。
- 小規模保育等の説明等は各地域で国からの通達文は目にしますが、「居宅訪問型保育」の情報が無い為、わかりません。詳しく情報が頂けると幸いです。

Ⅲ. 子ども・子育て支援新制度における訪問型保育導入に関する調査 (地方自治体調査)

(回答数:97 自治体)

上段 件数(単位:自治体) 下段(一部右段) 割合

1. 地域型保育事業の導入について

表Ⅲ-1-1 地域型保育事業の導入予定

		27年度に導入する	28年度以降に導入する	時期は決めてないが導入する予定	検討中であり未定	導入する予定はない	実施している	総数
小規模保育事業	A型	53 54.6%	6 6.2%	6 6.2%	19 19.6%	9 9.3%	4 4.1%	97 100%
	B型	35 36.1%	3 3.1%	4 4.1%	30 30.9%	21 21.6%	4 4.1%	97 100%
	C型	16 16.5%	2 2.1%	4 4.1%	40 41.2%	34 35.1%	1 1.0%	97 100%
家庭的保育事業		18 18.6%	2 2.1%	5 5.2%	31 32.0%	27 27.8%	14 14.4%	97 100%
居宅訪問型保育事業		8 8.2%	1 1.0%	7 7.2%	45 46.4%	36 37.1%	0 0.0%	97 100%
事業所内保育事業		33 34.0%	5 5.2%	12 12.4%	28 28.9%	17 17.5%	2 2.1%	97 100%

2. 居宅訪問型保育事業について (上記の間で導入、又は導入予定と回答した自治体のみ)

表Ⅲ-2-1 居宅訪問型保育事業の対象

1. 障害、疾病等の程度を勘案して集団保育が著しく困難であると認められる場合	10	62.5%
2. 教育・保育施設又は地域型保育事業者が利用定員の減少の届け出又は確認の辞退をする場合に、保育の継続的な利用の受け皿として保育を行う場合	9	56.3%
3. 児童福祉法に基づく措置に対応するために保育を行う場合	9	56.3%
4. ひとり親家庭で夜間の勤務がある場合等、居宅訪問型保育の必要性が高い場合	10	62.5%
5. 離島、へき地などであって、居宅訪問型保育事業以外の家庭的保育事業等の確保が困難であると市町村が認める場合	1	6.3%
6. その他	3	18.8%
総数	16	100%

表Ⅲ-2-2 居宅訪問型保育事業実施の際の保育者の資格要件

1. 保育士に限定する	0	0.0%
2. 保育士、または、一定の資格を有し、家庭的保育者になるための認定研修を修了した者	6	37.5%
3. 保育士、または、家庭的保育者になるための認定研修を修了した者	6	37.5%
4. その他	4	25.0%
総数	16	100%

表Ⅲ-2-3 保育士以外の資格

看護師	幼稚園教諭の免許	学校教諭の免許	介護職員初任者研修	その他	総数
5	2	0	0	3	6
83.3%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	100%

3. 地域子ども・子育て支援事業について

表Ⅲ-3-1 地域子ども・子育て支援事業における訪問型保育

	実施している	27年度に導入する	28年度以降に導入する	時期は決めてないが導入する予定	検討中であり未定	導入する予定はない	無回答	総数
一時預かり事業（訪問型）	4 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	36 37.1%	56 57.8%	1 1.0%	97 100%
延長保育事業（訪問型）	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	38 39.2%	57 58.8%	1 1.0%	97 100%
病児保育事業（訪問型）	2 2.1%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	38 39.2%	54 55.7%	1 1.0%	97 100%

4. 訪問型保育を導入する上での課題

表Ⅲ-4-1 訪問型保育を導入する上での課題

1. 認可事業者の募集・選定	70	72.2%
2. 保育者への研修の実施	58	59.8%
3. 利用対象者の範囲の設定	51	52.6%
4. 利用者の公平性の担保	27	27.8%
5. 利用者支援事業のコーディネータへの周知、研修	13	13.4%
6. その他	18	18.6%
無回答	10	10.3%
総数	97	100%

IV. 家庭訪問保育者アンケートデータ (回答数:234人)

上段 件数(単位:人) 下段(一部右段) 割合

1. 家庭訪問保育者の属性

(1)家庭訪問保育者経験年数

表IV-1-1 経験年数

1年未満	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	15年以上	無回答	総数
36	32	37	33	27	43	25	1	234
15.4%	13.7%	15.8%	14.1%	11.5%	18.4%	10.7%	0.4%	100%

表IV-1-2 家庭訪問保育者経験年数の推移

	1年未満	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	15年以上	無回答	総数
H26	36 15.4%	32 13.7%	37 15.8%	33 14.1%	27 11.5%	43 18.4%	25 10.7%	1 0.4%	234 100%
H24	96 23.0%	78 18.7%	61 14.6%	49 11.7%	41 9.8%	45 10.8%	46 11.0%	2 0.5%	418 100%
H23	37 12.7%	63 21.6%	53 18.2%	31 10.6%	32 11.0%	46 15.8%	30 10.3%	0 0.0%	292 100%

表IV-1-3 年齢別経験年数

	1年未満	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	15年以上	無回答	総数
全体	36 15.4%	32 13.7%	37 15.8%	33 14.1%	27 11.5%	43 18.4%	25 10.7%	1 0.4%	234 100%
30歳未満	8 47.1%	4 23.5%	3 17.6%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 100%
30歳代	6 24.0%	1 4.0%	4 16.0%	4 16.0%	6 24.0%	4 16.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100%
40歳代	6 12.2%	11 22.4%	9 18.4%	6 12.2%	2 4.1%	10 20.4%	5 10.2%	0 0.0%	49 100%
50歳代	9 10.8%	10 12.0%	14 16.9%	13 15.7%	12 14.5%	16 19.3%	8 9.6%	1 1.2%	83 100%
60歳以上	7 11.7%	6 10.0%	7 11.7%	8 13.3%	7 11.7%	13 21.7%	12 20.0%	0 0.0%	60 100%

(2)家庭訪問保育者の年齢

表IV-1-4 家庭訪問保育者の年齢構成

20歳未満	20歳以上	25歳以上	30歳以上	35歳以上	40歳以上	45歳以上	50歳以上	55歳以上	60歳以上	65歳以上	総数
1	5	11	8	17	19	30	41	42	38	22	234
0.4%	2.1%	4.7%	3.4%	7.3%	8.1%	12.8%	17.5%	17.9%	16.2%	9.4%	100%

表IV-1-5 家庭訪問保育者の年齢構成の推移

	20歳未満	20歳以上	25歳以上	30歳以上	35歳以上	40歳以上	45歳以上	50歳以上	55歳以上	60歳以上	65歳以上	無回答	総数
H26	1 0.4%	5 2.1%	11 4.7%	8 3.4%	17 7.3%	19 8.1%	30 12.8%	41 17.5%	42 17.9%	38 16.2%	22 9.4%	0 0.0%	234 100%
H24	1 0.2%	7 1.7%	24 5.7%	21 5.0%	31 7.4%	36 8.6%	76 18.2%	79 18.9%	54 12.9%	59 14.1%	28 6.7%	2 0.5%	418 100%
H23	1 0.3%	11 3.8%	13 4.5%	20 6.8%	24 8.2%	33 11.3%	37 12.7%	51 17.5%	44 15.1%	37 12.7%	20 6.8%	1 0.3%	292 100%

(3)家庭訪問保育者の保有資格(複数回答)

表IV-1-6 家庭訪問保育者の保有資格

ABA・ACSA 認定ベビー シッター	保育士	幼稚園 教諭	小学校 教諭・ 養護教諭	保健師・ 看護師・ 助産師	その他 保育関連 資格	無回答	総数
46	77	74	17	4	22	75	234
19.7%	32.9%	31.6%	7.3%	1.7%	9.4%	32.1%	100%

表IV-1-7 家庭訪問保育者の保有資格

	ABA・ACSA 認定ベビ ーシッター	保育士	幼稚園 教諭	小学校 教諭・ 養護教諭	保健師・ 看護師・ 助産師	その他 保育 関連 資格	保育関 連資格 なし	無回答	総数
H26	46 19.7%	77 32.9%	74 31.6%	17 7.3%	4 1.7%	22 9.4%		75 32.1%	234 100%
H24	80 19.1%	120 28.7%	114 27.3%	31 7.4%	4 1.0%	43 10.3%		165 39.5%	418 100%
H23	75 25.7%	101 34.6%	106 36.3%	26 8.9%	4 1.4%	31 10.6%	73 25.0%	0 0%	292 100%

(4) 育児経験の有無

表IV-1-8 家庭訪問保育者の育児経験

育児経験 あり	育児経験 なし	無回答	総数
183 78.2%	48 20.5%	3 1.3%	234 100%

表IV-1-9 家庭訪問保育者の育児経験の推移

	育児経験 あり	育児経験 なし	無回答	総数
H26	183 78.2%	48 20.5%	3 1.3%	234 100%
H24	342 81.8%	74 17.7%	2 0.5%	418 100%
H23	232 79.5%	59 20.2%	1 0.3%	292 100%

(5) 従事したことがある保育形態

表IV-1-10 家庭訪問保育以外に従事したことがある保育形態(複数回答)

①幼稚園	46	19.7%
②保育所	94	40.2%
③認定こども園	13	5.6%
④認可外保育施設	59	25.2%
⑤事業所内保育施設	82	35.0%
⑥家庭的保育	33	14.1%
⑦その他の保育事業	34	14.5%
⑧ない	44	18.8%
無回答	5	2.1%
総数	234	100%

2. 現在の勤務実態

(1) 稼働可能頻度・時間帯

表IV-2-1 現在の稼働可能頻度

毎日でも 働ける	週の半分くら い(2~3日) 働ける	週一回程度 働ける	自分の都合 の良い日のみ 働ける	無回答	総数
69 29.5%	94 40.2%	11 4.7%	57 24.4%	3 1.3%	234 100%

表Ⅳ-2-2 始業時間

何時からでも可能	決まった時間から	無回答	総数
76	155	3	234
32.5%	66.2%	1.3%	100%

表Ⅳ-2-3 可能な始業時間

6:30 から	8:00 から	9:00 から	10:00 から	11:00 から	12:00 から	17:00 から	総数
8	36	66	21	8	8	8	155
5.2%	23.2%	42.6%	13.5%	5.2%	5.2%	5.2%	100%

表Ⅳ-2-4 終業時間

何時まででも可能	決まった時間まで	無回答	総数
80	152	2	234
34.2%	65.0%	0.8%	100%

表Ⅳ-2-5 可能な終業時間

12:00 まで	15:00 まで	16:00 まで	17:00 まで	18:00 まで	19:00 まで	20:00 まで	21:00 まで	22:00 まで	23:00 まで	24:00 まで	総数
3	6	8	36	24	16	17	17	15	7	3	152
2.0%	3.9%	5.3%	23.7%	15.8%	10.5%	11.2%	11.2%	9.9%	4.6%	2.0%	100%

表Ⅳ-2-6 宿泊

できる	できない	無回答	総数
81	150	3	234
34.6%	64.1%	1.3%	100%

表Ⅳ-2-7 勤務パターン

家庭訪問保育のみ	家庭訪問保育とその他の保育	家庭訪問保育以外の保育のみ	無回答	総数
113	92	24	5	234
48.3%	39.3%	10.3%	2.1%	100%

(2)家庭訪問保育

表Ⅳ-2-8 家庭訪問保育の勤務の有無

勤務実績あり	勤務実績なし	無回答	総数
205	12	17	234
87.6%	5.1%	7.3%	100%

表Ⅳ-2-9 家庭訪問保育の1ヶ月の平均勤務時間

10時間未満	10時間以上	25時間以上	50時間以上	75時間以上	100時間以上	140時間以上	無回答	総数
28	60	46	34	14	8	4	11	205
13.7%	29.3%	22.4%	16.6%	6.8%	3.9%	2.0%	5.4%	100%

表Ⅳ-2-10 家庭訪問保育の1ヶ月の平均収入

1万円未満	1万円以上	2万円以上	3万円以上	4万円以上	5万円以上	6万円以上	7万円以上	8万円以上	9万円以上	10万円以上	15万円以上	無回答	総数
19	29	29	28	19	17	13	7	12	2	12	4	14	205
9.3%	14.1%	14.1%	13.7%	9.3%	8.3%	6.3%	3.4%	5.9%	1.0%	5.9%	2.0%	6.8%	100%

(3) 保育ルームでの集団保育

表IV-2-11 保育ルームでの集団保育の勤務の有無

勤務実績あり	勤務実績なし	無回答	総数
98	40	96	234
41.9%	17.1%	41.0%	100%

表IV-2-12 保育ルームでの集団保育の1ヶ月の平均勤務時間

10時間未満	10時間以上	25時間以上	50時間以上	75時間以上	100時間以上	140時間以上	無回答	総数
19	27	7	12	8	3	14	8	98
19.4%	27.6%	7.1%	12.2%	8.2%	3.1%	14.3%	8.2%	100%

表IV-2-13 保育ルームでの集団保育の1ヶ月の平均収入

1万円未満	1万円以上	2万円以上	3万円以上	4万円以上	5万円以上	6万円以上	7万円以上	8万円以上	9万円以上	10万円以上	15万円以上	無回答	総数
11	19	11	7	7	4	4	4	2	0	12	7	10	98
11.2%	19.4%	11.2%	7.1%	7.1%	4.1%	4.1%	4.1%	2.0%	0.0%	12.2%	7.1%	10.2%	100%

(4) その他の保育サービス

表IV-2-14 その他の保育の勤務の有無

勤務実績あり	勤務実績なし	無回答	総数
48	48	138	234
20.5%	20.5%	59.0%	100%

表IV-2-15 その他の保育の1ヶ月の平均勤務時間

10時間未満	10時間以上	25時間以上	50時間以上	75時間以上	100時間以上	140時間以上	無回答	総数
18	9	8	6	1	0	1	5	48
37.5%	18.8%	16.7%	12.5%	2.1%	0.0%	2.1%	10.4%	100%

表IV-2-16 その他の保育の1ヶ月の平均収入

1万円未満	1万円以上	2万円以上	3万円以上	4万円以上	5万円以上	6万円以上	7万円以上	8万円以上	9万円以上	10万円以上	15万円以上	無回答	総数
8	9	8	4	6	2	1	0	0	0	1	1	8	48
16.7%	18.8%	16.7%	8.3%	12.5%	4.2%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	16.7%	100%

(5) 1か月の平均総勤務時間・総収入

表IV-2-17 1ヶ月の平均総勤務時間

10時間未満	10時間以上	25時間以上	50時間以上	75時間以上	100時間以上	140時間以上	無回答	総数
16	46	39	45	36	16	21	10	229
7.0%	20.1%	17.0%	19.7%	15.7%	7.0%	9.2%	4.4%	100%

表IV-2-18 1ヶ月の平均総収入

1万円未満	1万円以上	2万円以上	3万円以上	4万円以上	5万円以上	6万円以上	7万円以上	8万円以上	9万円以上	10万円以上	15万円以上	無回答	総数
8	22	21	19	18	26	17	20	22	2	27	14	13	229
3.5%	9.6%	9.2%	8.3%	7.9%	11.4%	7.4%	8.7%	9.6%	0.9%	11.8%	6.1%	5.7%	100%

表IV-2-19 勤務時間、収入の平均値

	勤務時間	収入
家庭訪問保育	38.4 時間 (n=187)	4.2 万円 (n=187)
保育ルームでの集団保育	56.2 時間 (n= 85)	5.8 万円 (n= 85)
その他の保育	26.6 時間 (n= 40)	2.9 万円 (n= 40)
一人あたり合計	61.2 時間 (n=210)	6.6 万円 (n=210)

*それぞれ、勤務時間と収入の両方に記入があったものについて集計

表IV-2-20 現在の働き方が希望と合っているか(複数回答)

①もう少し働く時間を減らしたい	10	4.3%
②もう少し早い時間に仕事を終えたい	39	16.7%
③だいたい希望の時間になっている	139	59.4%
④もう少し働く時間を増やしたいが、時間帯が合わない	55	23.5%
⑤もう少し働く時間を増やしたいが、依頼がない	41	17.5%
無回答	5	2.1%
総数	234	100%

3. 家庭訪問保育という仕事について

表IV-3-1 家庭訪問保育者として働く意義(複数回答)

①子どもの成長を見守ることができる	146	62.4%
②子どもとじっくり関わることができる	133	56.8%
③子どもになつかれたり、好かれる	116	49.6%
④さまざまな育児環境や養育方針を知ることができる	108	46.2%
⑤保護者の子育てを支援できる	169	72.2%
⑥保護者に感謝される	124	53.0%
⑦収入が得られる	152	65.0%
⑧保育に関する知識や技術を向上させる機会になる	90	38.5%
⑨現在の子育て事情を知ることができる	107	45.7%
⑩仕事を通じて学ぶことが多い	161	68.8%
⑪子育て支援を通じて、社会的意義のある仕事をしていると感じる	117	50.0%
⑫その他	13	5.6%
総数	234	100%

表IV-3-2 労働環境上の課題(複数回答)

①定期的な仕事が少なく、収入が安定しない	104	44.4%
②労働時間が不規則である	101	43.2%
③突然の依頼やキャンセルがあり、予定が立てにくい	98	41.9%
④子どもの命を預かる責任の重さを感じる	173	73.9%
⑤自分の知識・技術の不足を感じる	71	30.3%
⑥自分の体力不足を感じる	55	23.5%
⑦さまざまな価値観を持つ保護者とのコミュニケーションの取り方が難しい	58	24.8%
⑧自分のニーズに応じて受けられる研修がない	38	16.2%
⑨その他	14	6.0%
⑩課題はほとんどない	4	1.7%
無回答	2	0.9%
総数	234	100%

表IV-3-3 経験年数別労働環境上の課題(複数回答)

	①定期的な仕事が少なく収入が安定しない	②労働時間が不規則である	③突然の依頼やキャンセルがあり予定が立てにくい	④子どもの命を預かる責任の重さを感じる	⑤自分の知識・技術の不足を感じる	⑥自分の体力不足を感じる
全体	104 44.6%	101 43.3%	98 42.1%	173 74.2%	71 30.5%	55 23.6%
5年未満	52 49.5%	35 33.3%	44 41.9%	76 72.4%	34 32.4%	19 18.1%
5年以上	23 38.3%	26 43.3%	19 31.7%	44 73.3%	18 30.0%	13 21.7%
10年以上	18 41.9%	27 62.8%	21 48.8%	36 83.7%	12 27.9%	14 32.6%
15年以上	11 44.0%	13 52.0%	14 56.0%	17 68.0%	7 28.0%	9 36.0%

	⑦さまざまな価値観を持つ保護者とのコミュニケーションの取り方が難しい	⑧自分のニーズに応じて受けられる研修がない	⑨その他	⑩課題はほとんどない	無回答	総数
全体	58 24.9%	38 16.3%	14 6.0%	4 1.7%	2 0.9%	233 100%
5年未満	26 24.8%	28 26.7%	8 7.6%	2 1.9%	1 1.0%	105 100%
5年以上	15 25.0%	4 6.7%	2 3.3%	2 3.3%	1 1.7%	60 100%
10年以上	8 18.6%	3 7.0%	2 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	43 100%
15年以上	9 36.0%	3 12.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100%

表IV-3-4 獲得したいスキル・知識(複数回答)

①家庭訪問保育者としての保育技術(遊び、言葉掛け、食事など)	133	56.8%
②子どもの発達やメンタルケア	136	58.1%
③保護者理解と対応	72	30.8%
④事故・災害時の対応・救急法	116	49.6%
⑤リスクマネジメントと賠償保障、法的責任など	34	14.5%
⑥現在持っている資格にプラスした資格の取得	51	21.8%
⑦障害理解や障害児保育	78	33.3%
⑧病児・病後児保育	68	29.1%
⑨その他	7	3.0%
無回答	3	1.3%
総数	234	100%

表IV-3-5 経験年齢別獲得したいスキル・知識(複数回答)

	①家庭訪問保育者としての保育技術	②子どもの発達やメンタルケア	③保護者理解と対応	④事故・災害時の対応・救急法	⑤リスクマネジメントと賠償保障、法的責任など	⑥現在持っている資格にプラスした資格の取得	⑦障害理解や障害児保育	⑧病児・病後児保育	⑨その他	無回答	総数
全体	132 56.7%	135 57.9%	72 30.9%	115 49.4%	34 14.6%	51 21.9%	77 33.0%	68 29.2%	7 3.0%	3 1.3%	233 100%
5年未満	60 57.1%	61 58.1%	32 30.5%	54 51.4%	21 20.0%	24 22.9%	35 33.3%	30 28.6%	4 3.8%	1 1.0%	105 100%
5年以上	39 65.0%	37 61.7%	13 21.7%	29 48.3%	5 8.3%	12 20.0%	19 31.7%	17 28.3%	0 0.0%	2 3.3%	60 100%
10年以上	25 58.1%	22 51.2%	19 44.2%	22 51.2%	7 16.3%	12 27.9%	14 32.6%	15 34.9%	2 4.7%	0 0.0%	43 100%
15年以上	8 32.0%	15 60.0%	8 32.0%	10 40.0%	1 4.0%	3 12.0%	9 36.0%	6 24.0%	1 4.0%	0 0.0%	25 100%

表Ⅳ-3-6 スキルアップのための研修参加と費用について

①自費でも受講したい	40	17.1%
②所属事業所が受講料を負担したうえで、事業所の指示があるなら受講したい	85	36.3%
③無料の研修なら受講したい	97	41.5%
④受講料にかかわらず、受講したくない	6	2.6%
無回答	6	2.6%
総数	234	100%

表Ⅳ-3-7 保育に関する研修の受講頻度

月 1回 以上	1年に 10回	1年に 8回	1年に 6回	1年に 5回	1年に 4回	1年に 3回	1年に 2回	1年に 1回	2年に 1回	3年に 1回	4年以 上に 1回	無回答	総数
3	2	2	2	4	8	18	44	87	19	4	4	37	234
1.3%	0.9%	0.9%	0.9%	1.7%	3.4%	7.7%	18.8%	37.2%	8.1%	1.7%	1.7%	15.8%	100%

4. 「子ども・子育て支援新制度」について

表Ⅳ-4-1 子ども・子育て支援新制度の認知

①新制度について、だいたいのことは把握している	17	7.3%
②新制度になることは知っている	93	39.7%
③聞いたことはあるが、よくわからない	94	40.2%
④知らない	27	11.5%
無回答	3	1.3%
総数	234	100%

表Ⅳ-4-2 情報の取得経路(複数回答)

①所属する事業所から説明を受けた	48	20.5%
②新聞、テレビ等マスコミ	133	56.8%
③広報など、自治体からの情報	54	23.1%
④その他	14	6.0%
無回答	30	12.8%
総数	234	100%

表Ⅳ-4-3 居宅訪問型保育事業等に従事するための研修受講

①受講したい	79	33.8%
②所属事業所の指示であれば受講する	54	23.1%
③長期間の研修受講は難しい	44	18.8%
④現状でやれる範囲の仕事をしたいため、受講は希望しない	43	18.4%
無回答	14	6.0%
総数	234	100%

調査票

平成 26 年度実態調査 会員事業者調査票

平成 26 年度 家庭訪問保育者実態調査票

平成 26 年度 家庭訪問保育利用者実態調査票

平成 26 年度実態調査 ACSA 会員事業者調査票

子ども・子育て支援新制度施行に向けて、国・地方公共団体で慌ただしく準備が進められています。会員事業者の皆様も、事業者向けの説明会などが開かれていることと思います。

新制度には、地域型保育事業における「居宅訪問型保育事業」、地域子ども・子育て支援事業における「一時預かり事業（訪問型）」、「病児保育事業（訪問型）」、「延長保育事業（訪問型）」などが含まれますが、多くの市町村に訪問型保育を事業として取り入れていただけるように、BABYSITTER NOW 等を通して、情報提供したいと思います。

そのため、本年度の実態調査では、訪問保育の利用実態や人材確保に焦点を当てた実態調査を行います。また、家庭訪問保育と地方自治体との連携・協働事例を今後とも情報提供していきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、この調査では、従来のベビーシッター事業を家庭訪問保育と呼び、保育に従事する方は家庭訪問保育者と呼びます。

I 家庭訪問保育の利用実態・供給体制についてお聞きします。

Q1. 貴社の家庭訪問保育の中で、下記の項目別の利用状況をお答えください。各項目番号に○を記入してください。また、最近利用が増えている項目には右欄に○を記入してください。

保育形態	現在の利用状況	最近利用が増えているものに○を
①早朝保育(9時前)	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
②夜間保育(17時以降)	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
③深夜保育(22時以降)	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
④宿泊を伴う保育	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
⑤日中(9時～17時)の定期的保育	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
⑥送迎を伴う定期的な保育	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
⑦休日保育	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
⑧一時保育	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
⑨病児・病後児保育	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
⑩産前産後ケア	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
⑪障害児保育	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	
⑪学童保育	1. 利用が多い 2. 利用がある 3. 利用があまりない	

Q2. 貴社の家庭訪問保育の利用者はどういう利用の仕方をしていますか。該当するものすべてに○をした上で、右欄に項目別におおよその割合を記入してください。

	該当するものに○	全体に占める割合
1. ベビーシッター育児支援券を利用		割
2. 勤務する会社の福利厚生を使って利用		割
3. すべて自費で利用		割
4. 地方自治体の事業として利用		割
5. その他()		割
		計 10 割

Q3. 貴社が行う家庭訪問保育で現在、市町村の事業や公的機関の事業の一環として、取り入れられているものを選んで○を記入してください。(複数回答可)

1.ある	産前産後支援(上の子どもの保育を含む)	
	病児病後児保育	
	一時保育	
	障害児支援	
	養育支援家庭訪問事業	
	ひとり親家庭支援	
	その他：送迎保育、延長保育、同行保育など具体的にご記入ください。	
2.ない		

Q3-1 上記の質問で、市町村の事業や公的機関の事業の一環として取り入れられているものを具体的にご記入ください。2年前にお聞きしたものを更新して、実態調査に掲載します。内容の確認はACSAで各自治体にとりま

す。

事業内容	特徴	当該自治体名
(例) ○○県シルバー人材事業研修	50歳以上を対象に○○時間の研修を実施。終了時に会員事業者との面談などを行い、登録につなげる。	○○県○○課

貴社名 () 本件のご担当者様 ()
ご連絡先電話番号 - -

Q4 貴社の家庭訪問保育者の雇用形態について、以下の表に記入して下さい。雇用している形態に○を記入し、貴社の家庭訪問保育者に占める割合を記入してください。

雇用形態	1. いる 2. いない	1. 専任 2. 兼務	%
正社員	1. いる 2. いない	1. 専任 2. 兼務	%
パートタイマー	1. いる 2. いない	1. 専任 2. 兼務	%
契約社員	1. いる 2. いない	1. 専任 2. 兼務	%
登録社員	1. いる 2. いない	1. 専任 2. 兼務	%
業務委託	1. いる 2. いない	1. 専任 2. 兼務	%
その他()	1. いる 2. いない	1. 専任 2. 兼務	%

*家庭訪問保育者に該当する雇用形態がない場合は、その他にご記入下さい。

Q5. 家庭訪問保育の依頼に対して、貴社に所属する家庭訪問保育者は十分に確保できていますか。(複数回答可)

1. 全体的に充足している	
2. 時間帯により、不足するところがある	
3. ある程度の経験者が不足するところがある	
4. 資格取得者が不足するところがある	
5. その他()	

該当するものに○を

1. 早朝 2. 夕方 3. 夜間

該当するものに○を

1. 保育士 2. 認定ベビーシッター
3. その他()

Q6. 家庭訪問保育者としての勤務継続率はいかがですか。最も近いものを一つ選んで○をしてください。

1. 全体として長く継続する人が多い	
2. 長く継続する人とすぐに辞める人とがいる	
3. 短期間で辞める人が多い	
4. その他()	

Q7. 家庭訪問保育者として採用する場合、特に重視する点はどのようなことですか。(複数回答可)

1. 保育に携わった経験がある	
2. 保育士等の資格を持っている	
3. 子育ての経験がある	
4. 身だしなみや礼儀作法が身についている	
5. 身元確認が取れている	
6. 勤務条件(稼働できる時間帯等)があう	
7. その他()	

Q8. 貴社には、利用者からの依頼を受け、利用調整をするコーディネータがいますか。該当するものを一つ選んで○をして下さい。

1. いる 延べ()名	
2. いないが、代表者がその役割を担っている	
3. いない	

Q9. 貴社のコーディネータが担っている役割はどのような内容ですか。(複数回答可)

1. 利用者のニーズを把握する	
2. 利用者の話をよく聞く	
3. 利用者の依頼内容にそった家庭訪問保育者を調整する	
4. 利用者に安心感を与える	
5. 利用者の苦情や要望を受け付ける	
6. 提供する保育の品質管理をする	
7. 家庭訪問保育者の報告を受ける	
8. 家庭訪問保育者の相談にのる	
9. 家庭訪問保育者に助言・指導する	
10. その他()	

Q10. 家庭訪問保育を行うにあたり、現状の課題として考えられるものに○をしてください。(複数回答可)

1. 利用者に「訪問型保育」のメリットが伝わりにくい	
2. 「訪問型保育」を利用しやすい仕組みが整っていない	
3. 利用料金への国・自治体などの支援が少ない	
4. 時間に偏りがありシフトが組みにくい	
5. 急な依頼への対応やキャンセルがある	
6. 人材が不足している	
7. 家庭訪問保育者の能力や質の向上を図る機会がとりにくい	
8. 利用が安定しにくい	
9. 対応が難しい依頼者(親)からの要望への対応やコミュニケーションがとりにくい	
10. その他()	
11. 課題はほとんどない	

Q11. 家庭訪問保育の利用実態・供給体制についてご意見をお書きください。

(ベビーシッター事業者とベビーシッターマッチングサイトの違い、コーディネータの役割、人材確保・養成他)

II 子ども・子育て支援新制度についてお聞きします。

Q12. 子ども・子育て支援新制度の施行に向けて、市町村では事業者や利用者向けの説明会が始まっていますが、いずれかに参加されましたか。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 参加した | 2. これから参加する予定である |
| 3. 実施されていない | 4. よくわからない |

Q13-1. 貴社の事業所が所在する市区町村では、地域型保育事業として、「居宅訪問型保育」が創設される予定ですか？

- | | | | | |
|------------|--------|----|----|---|
| 1. 創設される | 市区町村名【 | 】【 | 】【 | 】 |
| 2. 創設されない | 市区町村名【 | 】【 | 】【 | 】 |
| 3. 決まっていない | | | | |
| 4. 知らない | | | | |

子ども・子育て支援新制度における
訪問型保育導入に関する調査

自治体名	
担当部署	

1. 貴自治体では、子ども・子育て支援新制度において、地域型保育事業の各事業を導入される予定がありますか。それぞれの項目の該当する番号に○をしてください。

小規模保育事業	A型	1. 27年度に導入する 2. 28年度以降に導入する 3. 時期は決めてないが導入する予定 4. 検討中であり、未定 5. 導入する予定はない 6. 実施している
	B型	1. 27年度に導入する 2. 28年度以降に導入する 3. 時期は決めてないが導入する予定 4. 検討中であり、未定 5. 導入する予定はない 6. 実施している
	C型	1. 27年度に導入する 2. 28年度以降に導入する 3. 時期は決めてないが導入する予定 4. 検討中であり、未定 5. 導入する予定はない 6. 実施している
家庭的保育事業		1. 27年度に導入する 2. 28年度以降に導入する 3. 時期は決めてないが導入する予定 4. 検討中であり、未定 5. 導入する予定はない 6. 実施している
居宅訪問型保育事業		1. 27年度に導入する 2. 28年度以降に導入する 3. 時期は決めてないが導入する予定 4. 検討中であり、未定 5. 導入する予定はない 6. 実施している
事業所内保育事業		1. 27年度に導入する 2. 28年度以降に導入する 3. 時期は決めてないが導入する予定 4. 検討中であり、未定 5. 導入する予定はない 6. 実施している

1. の質問で「居宅訪問型保育」について、1.2.3 を選択した方がお答えください。
それ以外の方は 3. にお進み下さい。

2-1.

貴自治体で実施を予定する居宅訪問型保育事業については下記の対象のうち、当面どの部分を対象とするお考えでしょうか。該当する番号に○をしてください。また、その他を選択された場合はどのような利用を想定されているかご記入ください。

1. 障害、疾病等の程度を勘案して集団保育が著しく困難であると認められる場合
2. 教育・保育施設又は地域型保育事業者が利用定員の減少の届け出又は確認の辞退をする場合に、保育の継続的な利用の受け皿として保育を行う場合
3. 児童福祉法に基づく措置に対応するために保育を行う場合
4. ひとり親家庭で夜間の勤務がある場合等、居宅訪問型保育の必要性が高い場合
5. 離島、へき地などであって、居宅訪問型保育事業以外の家庭的保育事業等の確保が困難であると市町村が認める場合
6. その他 ()

2-2.

貴自治体で居宅訪問型保育事業を実施される場合、保育者の資格要件についてどのように規定される予定ですか。該当するもの一つに○をして下さい。
まだ確定していない場合は、ご予定としてお答え下さい。

1. 保育士に限定する
2. 保育士、または、一定の資格を有し、家庭的保育者になるための認定研修を修了した者
→ その場合の資格について、該当するもの総てに○をして下さい。
 - a. 看護師 b. 幼稚園教諭の免許 c. 学校教諭の免許 d. 介護職員初任者研修
 - e. その他 ()
3. 保育士、または、家庭的保育者になるための認定研修を修了した者
4. その他 ()

3. 地域子ども・子育て支援事業には、下記の事業に訪問型のメニューがありますが、貴自治体では導入される予定がありますか。該当する番号に○をしてください。

一時預かり事業（訪問型）	1. 実施している 2. 27年度に導入する 3. 28年度以降に導入する 4. 時期は決めてないが導入する予定 5. 検討中であり、未定 6. 導入する予定はない
延長保育事業（訪問型）	1. 実施している 2. 27年度に導入する 3. 28年度以降に導入する 4. 時期は決めてないが導入する予定 5. 検討中であり、未定 6. 導入する予定はない
病児保育事業（訪問型）	1. 実施している 2. 27年度に導入する 3. 28年度以降に導入する 4. 時期は決めてないが導入する予定 5. 検討中であり、未定 6. 導入する予定はない

4. 訪問型保育を導入する上での課題はどのようなことでしょうか。該当するものにいくつでも○をしてください。

1. 認可事業者の募集・選定
2. 保育者への研修の実施
3. 利用対象者の範囲の設定
4. 利用者の公平性の担保
5. 利用者支援事業のコーディネータへの周知、研修
6. その他（）

ご協力ありがとうございました。下記宛てにファックス送信して下さい。

お手数ですが、12月22日(月)までにご回答いただきますようお願いいたします。

公益社団法人全国保育サービス協会



03(5363)7456

平成 26 年度 家庭訪問保育者実態調査票

この調査は、公益社団法人全国保育サービス協会が実施するものです。現在、家庭訪問保育に従事する方々の実態を把握することにより、より一層家庭訪問保育を発展・向上させるための基礎資料とすることを目的としています。調査でお聞きする内容は、コンピュータで処理をし、統計的に分析します。収集されたデータについては注意を持って取り扱い、回答された方の個々のデータが公表されることはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。なお、この調査では、従来のベビーシッター事業を家庭訪問保育と呼び、保育に従事する方は家庭訪問保育者と呼びます。（ご回答締切日：平成 26 年 12 月 26 日）

Q1 家庭訪問保育者としての経験年数をお選び下さい。

(該当番号をご記入下さい:以下同様)

- ①1年未満 ②3年未満 ③5年未満
④7年未満 ⑤10年未満 ⑥15年未満
⑦15年以上

Q2 あなたの年齢をお選び下さい。

- ①20歳未満 ②25歳未満 ③30歳未満
④35歳未満 ⑤40歳未満 ⑥45歳未満
⑦50歳未満 ⑧55歳未満 ⑨60歳未満
⑩65歳未満 ⑪65歳以上

Q3 保有する資格に○をして下さい。(複数回答可)

①ABA・ACSA 認定ベビーシッター資格	
②保育士	
③幼稚園教諭	
④小学校教諭・養護教諭	
⑤保健師・看護師・助産師	
⑥他保育関連資格()	

Q4 育児経験はありますか。

- ①経験がある ②経験はない

Q5 あなたが「家庭訪問保育」以外に従事したことがある保育形態を選んで○をして下さい。(複数回答可)

①幼稚園		⑤事業所内保育施設	
②保育所		⑥家庭的保育	
③認定こども園		⑦その他の保育事業()	
④認可外保育施設		⑧ない	

Q6 あなたが現在働ける日数や時間帯について該当するものに○をし、()に時間を記入して下さい。

(1)日数

①毎日でも働ける	
②週の半分くらい(2~3日)働ける	
③週1回程度働ける	
④自分の都合の良い日のみ働ける	

(2)時間帯

始業時間	①何時からでも可能	
	②()時()分ごろから	
終業時間	①何時まででも可能	
	②()時()分ごろまで	
宿泊	①できる	
	②できない	

Q7 家庭訪問保育者としての1ヶ月の①平均勤務時間と②平均収入をご記入下さい。

(該当箇所○をつけ、勤務実績がある場合は実数をご記入下さい)

	①平均月勤務実績 (○をし、時間を記入)		②平均月收入 (円/月)	
	あり	なし	万円/月	
①家庭訪問保育	月平均	時間	万円/月	
②保育ルーム等での集団保育	あり	月平均	時間	万円/月
	なし			万円/月
③その他 (派遣など保育者としての業務)	あり	月平均	時間	万円/月
	なし			万円/月

Q8 Q7の働き方にはあなたの希望とあっていますか。

(複数回答可)

①もう少し働く時間数を減らしたい	
②もう少し早い時間に仕事を終えたい	
③だいたい希望の時間になっている	
④もう少し働く時間を増やしたいが、時間帯があわない	
⑤もう少し働く時間を増やしたいが、依頼がない	

Q9 家庭訪問保育者として働くことは、あなたにとってどのような点で良かったと思いますか？(複数回答可)

①子どもの成長を見守ることができる	
②子どもとじっくり関わることができる	
③子どもになつかれたり、好かれる	
④さまざまな育児環境や養育方針を知ることができる	
⑤保護者の子育てを支援できる	
⑥保護者に感謝される	
⑦収入が得られる	
⑧保育に関する知識や技術を向上させる機会になる	
⑨現在の子育て事情を知ることができる	
⑩仕事を通じて学ぶことが多い	
⑪子育て支援を通じて、社会的意義のある仕事をしていると感じる	
⑫その他()	

裏面にお進みください

Q10 家庭訪問保育者としての労働環境で課題だと感じていることをお選び下さい。
(複数回答可)

①定期的な仕事が少なく、収入が安定しない	
②労働時間が不規則である	
③突然の依頼やキャンセルがあり、予定が立てにくい	
④子どもの命を預かる責任の重さを感じる	
⑤自分の知識・技術の不足を感じる	
⑥自分の体力不足を感じる	
⑦さまざまな価値観を持つ保護者とのコミュニケーションの取り方が難しい	
⑧自分のニーズに応じて受けられる研修がない	
⑨その他()	
⑩課題はほとんどない	

Q11 家庭訪問保育者としてさらに向上するために、あなたが獲得したいスキルや知識をお選び下さい。
(複数回答可)

①家庭訪問保育者としての保育技術 (遊び、言葉掛け、食事など)	
②子どもの発達やメンタルケア	
③保護者理解と対応	
④事故・災害時の対応・救急法	
⑤リスクマネジメントと賠償保障、法的責任など	
⑥現在持っている資格にプラスした資格の取得	
⑦障害理解や障害児保育	
⑧病児・病後児保育	
⑨その他()	

Q12 Q11のようなスキルアップのための研修に参加するための費用についてどのように考えますか。該当するもの一つに○をして下さい。

①自費でも受講したい	
②所属事業所が受講料を負担したうえで、事業所の指示があるなら受講したい	
③無料の研修なら受講したい	
④受講料にかかわらず、受講したくない	

Q13 社内研修や自主的に参加する研修も含めて、保育に関する研修はどの程度の頻度で受けていますか。
□に数字を入れてください。

年に 回程度
 記入例) 1年に 2回程度
 2年に 1回程度

Q14-1 平成27年度から、「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、就学前の教育・保育、地域の子育て支援などの供給体制が変わることをご存知ですか。(○は一つ)

①新制度について、だいたいのことは把握している	
②新制度になることは知っている。	
③聞いたことはあるが、よくわからない	
④知らない	

Q14-2 「子ども・子育て支援新制度」についての情報はどのように知りましたか。(複数回答可)

①所属する事業所から説明を受けた	
②新聞、テレビ等マスコミ	
③広報など、自治体からの情報	
④その他()	

Q15 「子ども・子育て支援新制度」により、働く場所や機会が増える可能性があります。そういった場で働くためにはある程度の日数の研修を受講することが義務となります。家庭訪問保育の専門職として働くために、たとえば下記のような研修を受講したいですか。研修受講料は無料としてお考えください。(○は一つ)

(例)保育士資格がない場合は座学40時間、保育実習48時間、保有資格により、さらに保育所実習20日間の「認定研修」受講が必要です。さらに、保育士、または認定研修修了者は6~7日程度(現在国で検討中)の「専門研修」の受講が必要。

①受講したい	
②所属事業所の指示であれば受講する	
③長期間の研修受講は難しい	
④現状でやれる範囲の仕事をしたいため、受講は希望しない	

お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

ご回答締切日：平成 26 年 12 月 26 日

